

事業種類		農業基盤整備		事業名		県営中山間総合整備			
市町村名		阿智村		はなもも <small>さと</small> 花桃の里		事業年度 (完了年度は見込み)		H26 年度～ 31 年度	
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)		財源内訳(千円)			
	全体	農業用排水施設 3,403m、農道 6,126m、ほ場整備8.6ha、暗渠排水1.8ha、鳥獣害防止柵 25,000m 防災安全2箇所、農業集落道 4,643m		1,500,000		825,000	225,000	405,000	45,000
要	H26年度	測量・設計1式、農業用排水施設L=1,000m、農道L=1,000m 鳥獣害防止柵L=10,000m		150,000		82,500	22,500	40,500	4,500
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価区分			①得点	②重み係数	③評点 (①×②)
	必要性	受益面積	■ 100ha以上		<input type="checkbox"/> 80ha以上～100ha未満	<input type="checkbox"/> 60ha以上～80ha未満	20	0.3	30
		人・農地プランの作成	■ プランの見直し(ステップアップ)を予定		<input type="checkbox"/> プラン作成済	<input type="checkbox"/> 作成されていない	20		
		6次産業化への取組	■ 地元組織が活動中である		<input type="checkbox"/> 地元組織設立の計画がある	<input type="checkbox"/> 現在のところ地元組織の活動はない	20		
		地域資源を活用した取組	■ 取組を実施している		<input type="checkbox"/> 計画中である	<input type="checkbox"/> 取り組んでいない	10		
		都市農村交流	■ 計画調整済		<input type="checkbox"/> 計画調整中	<input type="checkbox"/> なし	10		
		地域用水機能	■ 機能を有する		<input type="checkbox"/> 機能を有しない		10		
		生活道路機能	■ 機能を有する		<input type="checkbox"/> 機能を有しない		10		
	小 計					100			
	重要性	市町村計画での位置付け	■ 位置付けあり		<input type="checkbox"/> 位置付けなし		30	0.2	20
県農政の重要施策への取組		■ 2つ以上推進している		<input type="checkbox"/> 1つを推進している	<input type="checkbox"/> 取組なし	25			
設計上の環境配慮項目		■ 配慮項目あり		<input type="checkbox"/> 配慮項目なし		25			
3法指定状況		■ 3法指定地域		<input type="checkbox"/> 2法指定地域	<input type="checkbox"/> 1法指定地域	20			
小 計					100				
効率性	費用対効果(B/C)	<input type="checkbox"/> B/C 1.2以上		■ B/C 1.1以上～1.2未満	<input type="checkbox"/> B/C 1.0以上～1.1未満	20	0.15	9	
	事業効果の早期発現度(事業年数)	<input type="checkbox"/> 5年以内		■ 6年以上10年以内	<input type="checkbox"/> 10年以上	15			
	コスト削減の取組	■ コスト削減の取組あり		<input type="checkbox"/> コスト削減の取組なし	<input type="checkbox"/>	30			
	小 計					65			
緊急性	農地・水・環境の保全活動面積	■ あり(25%以上)		<input type="checkbox"/> あり(25%未満)	<input type="checkbox"/> なし	40	0.15	15	
	耐用年数を経過した幹線農業用水路の延長割合	■ 50%以上		<input type="checkbox"/> 25%以上50%未満	<input type="checkbox"/> 25%未満	30			
	耕作放棄地の解消	■ 市町村全体の構想がある		<input type="checkbox"/> 一部地域の構想がある	<input type="checkbox"/> 構想策定中	30			
	小 計					100			
計画熟度	地域からの要望	■ 地域住民の内発的な活動が強い		<input type="checkbox"/> 市町村からの要望がある	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	30	0.2	13	
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 広く一般に周知		■ 関係者を中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない	15			
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加		■ 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映していない	20			
	小 計					65			
費用対効果(B/C)		1.1		評価の合計				87	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	阿智村の農業は、稲作を中心とし、野菜や畜産との複合経営となっている。標高500m～1,200mの間に位置し、山間傾斜地という条件不利地であることに加え、鳥獣被害も深刻なことから、生産基盤の未整備地では、農業離れによる荒廃化が進んでいる。現在、農産物の高付加価値化と観光を結びつけた農業を展開するため、地元特産の農産物の加工販売に取り組んでいるほか、名古屋等都市圏への地元特産品販売等を進めているが、農業生産基盤や生活環境基盤の整備の遅れが、取組の支障となっている。このため、村では阿智村第5次総合計画において、農産物の高付加価値化や観光資源と結びつけた農業を発展させ、耕作放棄地の解消を図るとともに、定住条件を整備し、農村集落の維持と安全を確保することとしている。							
	地域からの要望経緯	平成23年11月に自治会協議会から農業生産基盤、生活環境基盤の整備について要望があった。その後、村はH23.11～H24.5にかけて自治会(七久里、堅町、下西、宮本、上半堀、下半堀、荒屋の7集落)ごとに、地元要望のヒアリングを実施した。							
	事業説明等の経緯	村ではH23.11～H24.5にかけて実施したヒアリングにより、具体的な地元要望の取りまとめを行った。H24.5以降、村は各自治会の要望を踏まえ、自治会の立会のもと現地確認を行い、事業計画等の説明を行った。平成25年2月には村議会農業委員会に事業概要を説明し了承された。							
	環境・景観への配慮項目	用排水路に自生する希少植物の保護。 農業用排水路の改修は景観や生態系に配慮し、緩勾配区間において自然石を使った石積水路を計画する。							
	他事業・プロジェクトとの関連	鳥獣被害防止総合対策事業(H24～H28 鳥獣害防止柵L=55km(全村)) 人・農地プランは、平成24年に会地地区(7経営体)、佐和地区(20経営体)、智里地区(3経営体)、浪合地区(3経営体)で作成済み。H25年度に地域・集落での話し合いを通じたプランへの見直しを予定。							
	特記事項	ほ場整備は、周辺不耕地を含めて整備し、特産品であるスイートコーンなどの増産を目指している意欲ある農家への農地の集積、規模拡大を図る。							
地域の合意形成		<input type="checkbox"/> 全員賛成		■ 概ね賛成		<input type="checkbox"/> 過半数賛成		<input type="checkbox"/> 動向不明	
部意見	高齢化や耕作放棄地の増大により地域農業の維持が困難になっているため、地域農産物の特産品化や都市交流活動などといった地域再生活動を支えるための農業生産基盤と農村生活基盤整備を総合的に行う必要があり、重要性が高い。			行政改革課 意見	持続可能な農業の実現や農業・農村が有する多面的機能を維持していく必要があることから、必要性、重要性、緊急性が高い。				
長野県公共事業評価監視委員会意見		県の自己評価は妥当と判断する。							